

# 深川市地域公共交通活性化協議会 令和元年度 事業報告書

## 1. 会議の開催

地域公共交通網形成計画に基づき、市内公共交通の利便性の向上や持続可能な公共交通網の形成に向けた協議を行いました。

### 【第1回会議】 令和元年 6月14日

- ・平成30年度事業報告及び決算について
- ・令和元年度事業計画（案）及び予算（案）について
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
- ・その他

### 【第2回会議】 令和元年11月29日

- ・路線バス「乗り方教室」の開催について
- ・路線バス「循環線」について
- ・公共交通空白地域における移動手段の検討状況について
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画の軽微変更について
- ・その他

## 2. 公共交通の利便性の向上や利用促進策の検討

### （1）路線バス「乗り方教室」の開催

主に路線バスの利用経験の少ないかたなどを対象に、路線バスの「停留所位置」「運行経路」「乗り方」などを知ってもらい、利用促進を図るため路線バス「乗り方教室」を開催しました。

開催日	開催区分	参加者数
11/30(土)	① 音江公民館 (9:30~10:30) ・体験乗車 音江~深川市立病院前 (往復) ・空知中央バス株式会社	11人
	② 納内コミュニティセンター (13:30~14:45) ・体験乗車 納内~深川市立病院前 (往復) ・空知中央バス株式会社	11人
12/1(日)	③ 文西コミュニティセンター (9:30~11:15) ・循環線 (生きがい文化センター先回り) ・空知中央バス株式会社	28人
	④ 一已公民館 (13:30~15:00) ・循環線 (深川市役所先回り) ・空知中央バス株式会社	10人
12/8(日)	⑤ 多度志コミュニティセンター (9:30~11:00) ・体験乗車 多度志~深川駅 (往復) ・ジェイ・アール北海道バス株式会社	13人
合計		73人

## (2) 路線バス「循環線」について

市が運行支援を行う路線バス「循環線」の運行経路やダイヤの見直し（令和2年4月1日付）について協議し、見直し内容について同意した。

また、「循環線」の利用を促進するため、見直し後の運行経路やダイヤなどを解りやすく掲載したパンフレットを作成し市民周知を図った。

「循環線」パンフレット	<p>&lt;日本語版&gt; 作成部数：13,000部 配布先：広報ふかがわ3月号へ折込（市内全戸配布） 市内公共施設、商業施設等へ設置依頼</p> <p>掲載内容： ・運行経路図及びダイヤ ・他路線との乗り換え例 ・路線バスの乗り方 ・高齢者バス利用料金助成制度 ・各種割引情報 ・問い合わせ先 など</p> <p>&lt;英語版&gt; 日本語版を英語翻訳したPDFデータを作成し、深川観光協会などへデータ提供を行った。（市内の外国人留学生や外国人観光客などへ案内するため作成）</p>
-------------	--

## 3. 公共交通空白地域における移動手段の確保に関する協議・検討

路線バスや鉄道がない公共交通空白地域の日常生活の移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシー等の導入などについて、他市町村の交通体系の情報収集及び市内事業者との意見交換を実施するなどして、具体的な運行体系について検討を進めた。

## 4. 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定

国が実施する地域公共交通確保維持改善事業に基づき、路線バス「循環線」の維持・確保を目的として「地域内フィーダー系統確保維持計画」を策定した。計画では、「循環線」を維持・確保するための指標として年間利用者数を掲げ、目標値を設定したほか、協議会として取り組む利用促進策を登載し、計画の推進に努めた。